

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	-----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路維持課 大賀隆宏	電話番号	0852-22-5187
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	橋梁耐震事業		
目的	(1) 対象	救急、消防等災害発生時の活動組織	
	(2) 意図	緊急輸送道路の信頼性確保	
事業概要	災害発生時における救助、救急、消防活動及び救援物資の輸送が円滑に行えるよう、緊急輸送道路上の橋梁の耐震化を行う。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	緊急輸送道路網橋梁耐震対策実施率	目標値	62.0	67.0	71.0	73.0	%
		取組目標値						
	式・定義	橋梁耐震対策完了橋梁数（累計）／対策が必要な橋梁数（207橋）	実績値	59.0	60.9			
			達成率	-	98.3	-	-	-
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	-

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,833,518	2,377,441
うち一般財源 (千円)	47,004	58,548

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

島根県は管理する一般国道および県道のうち、災害発生直後から行われる緊急輸送を円滑かつ確実に実施するために必要な道路として1,312kmを緊急輸送道路に選定しているが、この緊急輸送道路には阪神淡路大震災クラスの地震には耐えられない基準で建設された橋梁（※1）が914橋（平成28年度末）ある。これらの橋梁について最優先で実施すべき207橋（※2）の耐震化を平成30年代半ばを目標にすすめており、平成28年度までに126橋の対策が完了した。  
 ※1 平成8年より古い基準で建設された橋梁  
 ※2 15m以上かつ複数径間の橋

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成28年度は新たに4橋の耐震化が完了した。また、国の補正予算を活用し、10橋の事業促進を図った。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
地震はいつ発生するか分からないため、一刻も早く橋梁耐震化が進むよう事業進捗の加速化が必要。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
耐震化の進捗を加速させるためには多くの予算が必要になること。
- ③原因を解消するための「課題」  
計画を着実に進めるための安定した予算の確保と、あらゆる機会を活かした予算の上積みを図る必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

国の通常予算における交付金の他、補正予算等の機会を活用しつつ、橋梁耐震化予算を最大限確保するよう努める。また、補正予算等に対応できるよう、耐震設計調査を先行して行う。